

令和 7 年度介護保険事業の実績報告 サマリー

1 人口と被保険者数・認定者数の実績

- ・スライド No 3

65 歳以上人口のうち、75 歳以上の構成比が年々上昇しており、高齢者に占める後期高齢化率が 58%を超えた。第 1 号被保険者にしめる要介護認定率は 21.17%と前年に比して上昇している。

- ・スライド No 4、No 5

75 歳以上被保険者の増加に伴って、認定者全体で 119 人増加し、7,393 人となっている。また、総合事業対象者は継続して減少傾向にある。

2 給付費の実績

- ・スライド No 9

令和 7 年度の総給付費の実績と、令和 6 年度実績、令和 7 年度計画値を比較した表となっている。令和 7 年度の総給付費の合計額は、令和 6 年度に比して 2.3 ポイント上昇している。認定者数の増加に伴う増額と考えられる。

- ・スライド No11

令和 7 年度と令和 6 年度の介護給付費の実績をレーダーチャート化したものとなっている。令和 6 年度実績を「1」として示し、それに対して令和 7 年度実績が前年度を上回る場合は 1 以上（外側）、下回っている場合は 1 未満（内側）にプロットしたものとなっている。

訪問の医療系サービスは継続して伸長している。また、新たな看護小規模型居宅介護支援事業所の開所も影響している。

- ・スライド No12

介護給付費についてスライド No11 のレーダーチャートのもととなった数字を掲載している。介護給付費全体としては、前年度比 2.3 ポイントの上昇となっている。

- ・スライド No14

介護予防給付費について、スライド No11 と同様にレーダーチャート化したものである。訪問看護、福祉用具貸与のサービスが伸長した結果となっている。短期入所生活介護については、昨年度の利用実績が少なかったが、令和 7 年度は実績があったため大幅な増加となっている。詳細はスライド No15 参照

- ・ スライド No15

介護予防給付費についてスライド No14 のレーダーチャートのもととなった数字を掲載している。前年比 7.2 ポイントと上昇している。訪問リハビリテーションと福祉用具購入を除くすべてのサービスで前年度を上回る実績となっている。介護予防支援費も大きく上昇しており、介護予防サービス全体の利用が伸びていると考えられる。

- ・ スライド No17

総給付費と総合事業費、その合算した結果について記載している。全体としては、前年度比 2.4 ポイントの上昇となっている。総給付費、総合事業とも昨年度に引き続き伸長している。